

# コーディネーター 図上演習

(地域活動としての課題)

講師 みやぎ災害救援ボランティアセンター スタッフ

## 図上演習オリエンテーション

今回の災害救援ボランティアコーディネーター養成講座（初級）は、災害救援ボランティアコーディネーターが求められる役割・内容の基礎部分の一部を学んでいただくものです。この講座をもとに更なる学習の発展を期待いたします。

- (1) 図上演習は、参加されたみなさんがボランティアコーディネーターになったと思って各課題に取り組んでください。
- (2) 今回の図上演習は、中級の範囲（センター立ち上げ・運営）も一部含めた内容を実施します。
- (3) 突然に発生する災害は、あらゆることが同時に問題・ニーズとして発生し、その支援を求められます。図上演習では、災害時の状況をイメージし与えられた課題に取り組んでください。
- (4) 課題の正解もありません。様々な状況に対処するため最大公約数をお考えください。
- (5) 課題に対する質疑応答もありません。一方通行の指示になります。
- (6) 災害発生時は緊急事態ですので、個々人の状況判断による「即断即決」が求められます。

## 演習課題

### 【想定】

M7.5 の宮城県沖地震が発生し、仙台市東部及び宮城県沿岸部の市町村に大きな被害が出ました。かなりの全壊家屋と死傷者が出ている模様です。広範囲な地域で多数の被災者が出ています。

### 【指示項目】

以下の指示項目について、作業を進めること

- (1) グループで下記の項目について、考えてください。
- (2) 課題については、まとめ用紙（各一覧表）を配布しますので整理してください。

## 1. 被災地災害救援ボランティアセンターに必要な組織とシステム

被災者支援を行うため、多くのボランティアが被災地に集まることが予想されます。地元被災者のために「災害救援ボランティアセンター」を立ち上げ、ボランティアの効率的活動を支援し、被災者の負担軽減・励ましを行いたいと思います。

- |  |
|--|
| 課題1 被災地災害救援ボランティアセンターの組織図を作成する               |
| 課題2 組織図に沿った役割分担とその内容を考えて表に記入する               |
| 課題3 被災地災害救援ボランティアセンターの一日の活動日程表（スケジュール表）の作成する |

## 2. 必要とされる書類

被災地災害救援ボランティアセンターを運営していくためには、さまざまな様式の書類が必要になります。その中で次の様式に必要な項目をあげてください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 課題1 災害情報収集の様式                  |
| 課題2 ニーズ募集の様式                   |
| 課題3 ボランティア受付の様式                |
| 課題4 器具・機材管理表の様式                |
| 課題5 その他必要と思われる書式・様式名を列記してください。 |

## 3. 必要とされる資材・機材

被災地災害救援ボランティアセンターで被災者のニーズを聞き、ニーズ現場ボランティアを派遣して活動を遂行するためには、さまざまな資材・機材が必要になります。

### <課題の条件>

#### ニーズ内容

- |                          |
|--------------------------|
| ①地震で倒れかかったコンクリートブロックの撤去。 |
| ②倒壊した建物の後片付け             |
| ③散乱した室内の整理と清掃            |

- |                                  |
|----------------------------------|
| 課題1 被災地災害救援ボランティアセンター運営に必要な資材・機材 |
| 課題2 ボランティア活動（支援活動）に必要な資材・機材      |
| 課題3 資材・機材の入手先（購入先）               |